

樹木希林さんのナレーションで味わう

Life is Fruity

昼の部 開始 PM2:30
夜の部 開始 PM7:00

人生フルーツ

監督 伏原健之 / プロデューサー 阿武野勝彦
制作著作 東海テレビ / 2016年 / 91分



同時上映で深く希林さんと出会う

居酒屋ばあば

上映開始 PM4:30



ディレクター 伏原健之 / プロデューサー 阿武野勝彦
制作著作 東海テレビ / 2017年 / 52分



© 東海テレビ放送

2019年
3月22日(金)

『人生フルーツ』 『居酒屋ばあば』 2本いっしょ割引

入場料 1000円 + 入場料 1000円 = 入場料 1600円

会場

相模女子大学グリーンホール
多目的ホール
相模原市南区 相模大野 4-4-1
相模大野駅下車 伊勢丹となり



協力 CINEMA Chupki TABATA

中学生以下・障がい者の付添いの方 無料

主催 ● NPO 法人ここずっと ☎ 042-745-0676
e-mail : info@cocozutto.jp

ゆっくり始めよう 希林さんとともに 本当の豊かさへの深い思索の旅。後援：相模原市、相模原市教育委員会、社会福祉法人相模原市社会福祉協議会

●お目の不自由な方へ当日正午までに連絡ください。●お耳の不自由な方へ受付にて手話と筆談でお迎えます。●字幕・音声ガイド付きバリアフリー上映 視覚・聴覚の不自由なお知り合いもお誘いください。予約不要。直接会場にお越しください。

死ぬことは誰かの心の中で 生き続けることなんじゃないかしら (樹木希林)

第12回を迎えるここdeシネマでは、春のお彼岸に
昨年9月に逝かれた名優・樹木希林さんのお声とお姿をしのぶ2本を上映します。

希林さん(91)

1943年生まれ。文学座付属演劇研究所、第一期生。70年代に「時間ですよ」「寺内貫太郎一家」など話題のテレビドラマに出演し、その人気を不動のものとする。その後も独特な雰囲気を持つ個性派女優として幅広い分野で活躍。近年では映画『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』(07)で第31回日本アカデミー賞最優秀主演女優賞、是枝裕和監督『歩いてても歩いても』(08)で第51回ブルーリボン賞助演女優賞、李相日監督『悪人』(10)で第34回日本アカデミー賞最優秀助演女優賞、原田真人監督『わが母の記』(12)で第36回日本アカデミー賞最優秀主演女優賞など、数多くの映画賞を受賞している。是枝裕和監督作品では『そして父になる』(13)をはじめ、第71回カンヌ国際映画祭のパルム・ドール受賞作『万引き家族』(18)に出演。東海テレビ作品では、齊藤潤一監督『約束名張毒ぶどう酒事件 死刑囚の生涯』(12)に出演。『人生フルーツ』の伏原健之監督が手掛けた、式年遷宮の年に伊勢を旅したお伊勢参りドキュメンタリー『神宮希林わたしの神様』(14)、70年前の戦争からより多くを、より深く学びとるための機会として企画・制作された「戦後70年 樹木希林 ドキュメンタリーの旅」(15)がある。



© 東海テレビ放送

ひとつは、第91回キネマ旬報ベスト・テン文化映画第1位ほか
数々の受賞に輝く珠玉の傑作ドキュメンタリー

人生フルーツ

愛知県春日井市の高蔵寺ニュータウンの一隅。雑木林に囲まれた一軒の平屋。それは建築家の津端修一さんが、師であるアントニン・レーモンドの自邸に倣って建てた家。四季折々、キッチンガーデンを彩る70種の野菜と50種の果実が、妻・英子さんの手で美味しいごちそうに変わります。刺繍や編み物から機織りまで、何でもこなす英子さん。ふたりは、たがいの名を「さん付け」で呼び合います。長年連れ添った夫婦の暮らしは、細やかな気遣いと工夫に満ちていました。



ふたりのこと

修一さん

1925年1月3日生まれ。東京大学を卒業後、建築設計事務所を経て、日本住宅公団へ。数々の都市計画を手がける。広島大学教授などを歴任し、自由時間評論家として活動。

英子さん

1928年1月18日生まれ。愛知県半田市の老舗の造り酒屋で育つ。27歳で修一さんと結婚し、娘2人を育てる。畑、料理、編み物、機織りなど、手間ひまかけた手仕事が大好き。



もうひとつは、希林さんとその後の英子さんの
本音トークを記録したドキュメンタリー



『人生フルーツ』の主人公がどんな暮らしをしているのか。女優・樹木希林(74)が津端英子さん(89)と居酒屋で女子会をします。修一さんの妻として映画に登場した英子さんは、修一さんが亡くなってから、なぜか「居酒屋へ行ってみよう」と言い出した…。そんな話を聞いた希林さんが、名古屋の行きつけの居酒屋に英子さんをご招待。74歳と89歳がほろ酔い加減で語り合います。

その一か月後、希林さんが、愛知県春日井市の英子さんのお宅を訪問。今度は英子さんお手製のお菓子をいただきながら、再び、ばあばの女子トーク! 夫のこと、孫のこと、食べ物や病気のこと…。人生の大先輩、2人のばあばが本音で語り合うこととなります。

コミュニティ・シアター

〈ここdeシネマ〉はバリアフリーを目指します。



いつも通り、字幕と音声ガイド付き上映です。
また、みなさんから要望の高かった客席階段の段差を少なくし、車イスの方にも参加しやすい客席を実現します。(左の写真のように) どうぞみなさま、ためらいなく会場にお運びください。

※上記会場を設営するために多くの手が必要となります。お手伝いいただける方、ご連絡ください!

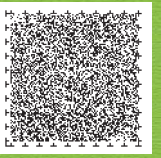
だれでも楽しめる
バリアフリー上映で
イヤホン付きFMラジオをお持ちください。
ラジオの貸出しもいたします。
(先着20台まで)

前回につづきシネマ・チュプキ・タバタさんから、音声ガイドを提供いただけます。深謝!



〈ここdeシネマ〉をつづけて
いくために、力を貸してください。
スタッフも募っています!

開催カンパ振込口座
横浜銀行相模大野支店
普通 6041388
名義 NPO法人
ここずっと



※これは内容を読み上げる音声コードです。(表面も)

お問合せはこちらへ
主催 NPO法人ここずっと
〒252-0303 相模原市南区相模大野9丁目6番18号
TEL 042-745-0676 FAX 042-742-0447
メール info@cocozutto.jp
後援：相模原市 相模原市教育委員会 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会